

H6、現役・新チームの抱負紹介

“勝型形成努力”

菅波 健彦 (新・主将 №8)

今年の目標は、当然の事ながら“Aリーグ昇格”である。私の入部以来、過去3年間それを目標に努力していたが、三位・八位・四位・の悔しい結果で終わっているが昨年度は、特に、入替戦に行ける筈だ、と思っただけに無念度が高く、それを、今年こそはらさねば、という想いを胸に今春、夏の練習に励んで行こうと決意している。今年は、例年弱体呼ばわりされ続けているFWを、特に強化したい。と言うのもセット・プレーの安定が勝利への第一条件だと考えるからだ。

— 対処具体練習として —

FWは、一日置きに・一時間・徹底したウエイト・トレーニングをする。

全体練習では、今迄出来ていなかった基本プレーの繰り返し練習をする。

練習中に数多く意見交換を行うことにより、全員が今の此の意図が何なのかを理解した上で積極的に練習参加するようにリードして行く。

その結果として個々人に此の局面でのプレーについて考える習慣が付けば成功だ、試合中の当方の意志統一が図り易く、どんな状況下でも対応しやすくなるだろう。

とにかく、何とかして、今迄あやふやだった「神大ラグビー部の確固とした“カタチ”を創り出したい」との念願に駆られたので、その具現化に努力して行くぞ。

春の練習試合では、少しでも多くの部員に試合に出てもらい経験を積んで貰う。

この中で色々な戦法を試し、秋までに“最も良い戦法”を身に付ける積もりだ。

現在、春季練習の真っ最中であるが、このまま全員が一つになって上述の方針を理解して練習に励めば、必ずAリーグ入りの目標は達成出来ると信じている。

これからも苦しい練習が続くが、一人も落ちこぼれ無いように、而も、今年の努力が結実し、来秋は“花園第一Gでプレー出来る格を備え・その試合を観客席から応援するぞ”との大望を抱いて自身も励み、且つチーム・リードして行く。

激突・混戦・好展開

鈴木 達郎 (新・V.Capt/S.O.)

六甲台に吹く風が暖くなり、私にとって最後のシーズンが始まりました。良く晴れた春の空の下に広がる神戸の街並みを眺めながら、期待と不安を胸に秘め、副将としての責任を感じる今日此頃です。

さて、今年のチームについて、ですが、核となる主力選手達が、それぞれの志に基づいて去られ更に飛翔される事を望みつつも、去られた今新チームの好リード要請が今度は自身に課せられ、“どうすれば近い将来、良い結果を具現出来る様になるのか?”を日夜考え続けています。

一つの糸口は見つかりました。

“今度は自分が、一本目になる好機や!”と感じ取って、頑張り、而も相互間のフィーリングを良好に保ちつつ向上努力している事をみたのです。こうした、良いムードを維持させ、昇格目標達成への意識づけを不断にしつつ向上させて行く、これこそ、リーダーの役割なのだ、との思いに到達したのです。

課題点は枚挙に余りありますから、重点から少しご紹介しますと、昨年は、優れた選手が揃い、まともにも良かった、それでも敗けた相手とは可成の差があったなと思ひ返します。私自身試合を重ねて実感したのは“上位チームのコンタクト・プレーの強さと巧みさ”でした。個人の確りしたコンタクト・プレーから、チームとしてのトライを奪うパターンが生まれていると感じたのです。↗

そこで、春シーズンは、個人のコンタクト・プレーのレベル・アップと、筋力アップ、に重点を置いてスタートしました。又、この練習は試合でこのプレーをするために必要なのだと説明しながら進めていますし、個人の長所となるプレーが失われる事の無いような配慮もしています。

新チームになってすぐに、特に新しい事が出来る様になったり、ラグビーをする環境が良くなったりはしません。条件的には例年と変わりはありません。然し、だからこそ、個人が確りと考えながらプレーする事が大切であり、部員にこの事を常に強調して行きます。

我々の目標は、勿論Aリーグ昇格です。

そのためにも、常に向上心を持ち、考えつづけるラグビーを目指しているのです。

会費納入お願い

我々の会です。O.B間の連絡と、後輩支援とが円滑に行なえる為に、今年も貴方からの会費納入を宜敷くお願いします。(同封の郵便局用紙ご利用下されば、手数料不要ですよ。)

年会費 10,000円

- 住友銀行 天満橋支店
普通預金 №957978 凌霜ラグークラブ
- 三和銀行 大阪駅前支店
普通預金 №27557 凌霜ラグークラブ
- 郵便局
大阪6-302152 凌霜ラグークラブ

理 事 会 報 告

1994 (H6) 3月24日 凌霜クラブに於いての会合で、下記諸項目が、討議された。

1. H. 5 予算と実績。 森内理事から報告
別表公表どうり

2. H. 6 事業計画と予算。

a) O.B / 現役親善戦と懇親会は恒例どうり
4月29日・13時～・六甲台で行う。
詳細案内於本文後述、乞多数参加

b) 総会の開催について
本部：H6年10月13日、大阪凌霜クラブ
で、行う。
東京：H6年9月16日 or 22日頃の予定
具体計画一任以山下・原口両理事

c) 現役援助について
本年度は100万円相当の現物支援にする。
事 情：

最近部員急増目下80人存在、自薄感謝
念於80万円現金支援、依頼現役意向・彼
白我欲・球、練習器材、試合着衣料、也。

理事会内部からも、O.B支援の有効性を
優位に考えて検討すべきとの意見が出て、
本年度の支援は、現役も望む現物での支給
支援とする事に決定した。内訳は、
ボール費 (@8,000 × 30ヶ) …… 約25万
ジャージ (" × 30着) …… 約25万
トレーニング機器 …… 約50万

d) 夏合宿参加 O.Bへの補助金について
宿泊される方に …… 2.5万円
日帰りの方に …… 1.5万円
の補助金をお支払いする。

e) 会員名簿・H6年版、作成について
現在名簿作成以来3年経過、其間多異動
部員所在、而必要編新規・580部。
☆つきましては、近々、各位宛て、近況のお
問合せ致します。漏れなく、正確に、ご返
信下さる様お願い申し上げます。
580部作成推定費用 …… 50万円

☆☆理事会で問題視された会員たる者の姿勢。
フェア下で激突しノーサイド有る最良の
球技を愛し、名誉ある当部に名を連ねてい
るにも拘らず、ノーブリス・オブリッジの
誇りと義務を希薄にしている方々が、殊に
S62卒以降の方々に後輩支援も義務の内
だという事を忘れ勝の会費未納率ダントツ
高とは何と言う事ですか。まさか部に入っ
ていたのは就職を有利にする技だったとは
言は無いでしょうね。単なる忘れだ・と念
いたい。とは願いつつも、理事会では連続
・過去5か年間・確たる理由も無く後輩支
援の為の“会費・不払い”の方々について
の除籍方向へ傾きました。

この罫囲気を、良くご承知頂き、お互い
に、不名誉な結果を招かぬ事を祈りつつ、
当会の継続と現役向上支援を兼ねる経済的
支援を、不忘・不断で続けて頂きます様に
お願い致します。

f) 会報の費用について
郵便代値上りと、会・部員増に伴う増刷
の要を勘案し …… 26万円を承認

g) 上記の如き、事業計画に基く
H6年度の予算 …… 別表公表どうり

3. H6年度、会費徴収状況について

H6.3.24. 現在で238人から納入頂いてい
るが、この納付率は50%にしか過ぎない。
納入頂いた方々のリストを、お礼を込め
て後表させて頂きますと共に、引続きのご
支援をお願いし、納付お忘れの方々へ今後
のご協力を重ねてお願いします。

4. 当会の会長・理事の改選について

h) 会長 職 位

当会の円滑運営に最適な人位・人格の為
永年元締めを、国領武一郎氏にお願いし、
又、その実も挙げて戴いているからこそ、
そのお陰で平穩裏に推移しているのですが、
この度、ご自身から“会の若返りの要有る
為・会長職にも新人事を”とのご意向強き
為、もだし難く、名誉会長として今後も良
き側面指針方お願いする。

“国領会長サン此迄のご指導・ご支援・纏め・
有難う。ご尽力に厚く感謝しつつ、是からも
当会発展へのアドバイスお願い致します”

☆ 尚、会長職・後任人事については、今秋
の、当会・総会の席で発表予定。

i) 理事の異動 有多少 報以後報

5. 現役・新チームの指導陣・紹介 …… 後記

★ H6.初理事会では、上記の事項が討議・決
定された。

＜当日出席の理事＞

国領 (会長・S12卒) 田中初雄 (S12卒)
太田圭吾 (S27) 井沢 (S30) 西松 (S31)
浜田 (S33 兼・会報担当) 富士 (S38)

§ ウオー・クライ

実際に見た事ありますか？

彼等はその中で一体何とオタケンテい
るのでしょいか？ 精神統一し、耳を欝て聞くと、
ノ頭張ってノ頭張ってノコラ待てノコラ待て・待たん
かいノノと叫んでいるかの様に聞こえます。我々
の遠い、赤フン・丸木ぶね祖先の声なのですノだ
から何となくフィーリングで心を揺さ振るものを
感ずるのです。実際には、こう言っていますノ
カ、マーテ、カ、マーテ、カ、オーラ、カ、オー
ラ、テネイ、テ、タンガタ、プフルフルウノ
“生死は、天に在り。燃ゆる太陽に向かって突き
進むぞ。オレは真に勇ましい戦士なのだノ”
ナナイ、ティク、マイ、ワカウイキ、テ、ラ、ア
ラフバネ、アラフバネ、アラフバネ、クバネ、ウ
イテイ、テ、ラ。ノ

“昭和11年のオール・ブラックス”

最近NHK-TV“近畿ナウ”の番組で、非常に興味をそそられる、珍しい映像を観た。

1936(S11)に、甲子園で行なわれた、と言う、対ニュージーランドのラグビー国際試合の実況フィルム放映だった。

白黒フィルムで……当たり前か……加えて無声だったが、当時の実写ムービーで、現在も奈良にお住まいの、おーや氏(大屋氏?大宅氏?…)なる方が大切に保存して居られるのを、JOBKが拝借して来て此の日の放映になったものの由。

さて、ニュージーランド・チーム・プレーヤーが、ホイッスル前に、突然おどり出したのです。

コブシを突出し・突き上げ、ヒザをかかめてコブシで叩き、最後は天に飛上がった! 無声映像だから叫び声は聞こえ無いが口だけバクバク何か言っていて、とにかく日本チームを威嚇している。

“アッ!これはウォークライや!ほならオールブラックスが相手やったんや!”と、気付いた時諸々の感慨・感動の電気が五体を走って打ちシビレた。何故シビレルのか?

先ず、此のフィルムは、今を去る事58年も昔の事なのです。読者の大方が未だジョンペンタレ小僧か・まだタネもシカケも無かった様なムカシの話なのです。私の場合ではS33大卒ですから、S20年代は中・高時代で、当時の世相は今のカンボジアかソマリアと同じような状態でしたので、直接戦災だけは免れましたが、出身地・京都(山城高・旧京三中・・吉田阪神元監督・釜本ガンバ監督・浜村じゅん・山城しんご・・他多数輩出している)と言う平安の地出の者でも仲々テスト・マッチなるものは観戦出来るような状況ではなかって、インタ・ナショナル・テスト・マッチなるものを観たのは社会人になり而も東京勤務になってからであった。幸いこの時期1960~1970~1980年という時期はオックス、ブリッジ、カナダ・トーテムポール、フランス、オール・ブラックス等が続々と来日した良き時期だったのでその都度、秩父宮・国立競技場へ通いビック・ゲームを親しく観戦したものだったが、その時実見し、背筋がゾクゾクするのを覚えたあの感覚が、此の放映を観た瞬間に再び蘇ったのだ。だから、NHKアナウンサー氏からは、此のNZチーム名の紹介は無かったけれど、私は「この対戦相手はきつとオール・ブラックスだったに違いない。」と直感・確信したのです。

此の試合は、JP3:31NZで終わった。

所で、1936年(昭11年)と言う年に(私がオール・ブラックスだったと確信しているチームとの)テスト・マッチとも言うべき大試合を、甲子園の地で行なったのは何故だったのでしょうか?

58年前当時の背景として、今私が知り得た事は「此のゲームが行なわれた4年後の1940年(S15)には“東洋では初めての日本オリンピック開催が正式決定していた”ので国内各地で招致合戦が今と同様に盛んだった」と言うことです。

果たしてオール・ブラックスだったのか?

何故、神戸・京都・花園で無く甲子園だった?事情ご存じの方のご寄稿を切にお願いします。

即答出来るものとして、上記の寄稿をしますが書くにつけ、ラグビー・フットボールの歴史の長さを感じ、後輩諸君が流行のサッカーに敗ける事なくラグビーの継承に邁進される事を希望します。

§ 当時の“南甲子園辺り”事情

戸澤 一隆氏(S4卒・テニス部OB 元阪神タイガース代表)

野村 幸年氏(賜資料提供、依戸澤先輩紹介、ベースボール・マガジン社在)

随分大昔の事について、而も突然のお問合せだからと、戸惑い顔ながらも戸澤先輩は下記お話し下さった。昭和初期のラ界は京大が強く野田氏、北村カメ氏が印象に残る。神高商では中山氏。S4に卒業し阪神電鉄に入社。この頃社が力を入れていた“南甲子園・球技場・陸上競技場の開発に参与し努力した”折角努力完成した此等のプロジェクトも日米開戦に伴い川西航空機(現・新明和)に譲る事になり阪神の手から離れた。今回お問合せのS11年のオール・B戦についての詳しい事は知りませんが、ひょっとして新装成ったばかりで、今はもう無い、あの時のあのマボロシの阪神南甲子園ラグビー・サッカー球技場だったかも知れませんね。私はラ界については門外漢だからとは言いつつも、わざわざ知人の野村氏に問合せ下さり後日下記の諸資料提供賜った。

<野村氏ご提供の資料から>

S11年状況。当時のラ界をリードしていたのは大学で、慶早明・京同が覇を競い、社会人チームは無いにも等しかった。この年には明大が名手笠原氏の健闘で東で早を13:18で破り、東西決勝で京に59:11と大勝して日本の覇者だった。

そこへ、NZUが再び来日した、M・スミス監督以下24選手。前回はS8年に対戦し、日本側は7戦し3勝4敗と善戦していた。だが、この年は、当時日本ではあまり行なわれていなかったアップ&アンダー戦法で掻き回され7戦して6連敗し、最終戦の全日本学生が9:9で引き分けに持ち込んだのが、やっとの事だった。

☆ご両所への御礼:貴重なお話・資料提供に対し厚く御礼申し上げます。

§ S.11のオール・ブラックス?について

会長・国領 武一郎(S12卒)

お問合わせの件

S11年来日し、公式対戦したNZのチームといえば、オール・ブラックスではありません。

それは、NZ大学選抜チームです。此の構成は、オタゴ、オ克兰ド、カンタベリー、ビクトリア等4大学から選抜された24名の精鋭で来日し、公式マッチを7戦行いNZ側6勝、1分の好成績で去り、その内容は下記の様でした。

対戦日	NZU	日本側チーム	場所
S. 11. 1. 26	31: 3	全関西学生	☆南甲子園
30	23: 6	慶応大学	神宮
2. 2	18:11	明治大学	〃
6	22:17	早稲田大学	〃
9	16: 8	全日本学生	〃
11	23: 8	全関西学生	花園
16	9: 9	全日本学生	〃

NHKが放映したという、そのゲームは、☆印を付けた全関西学生との第一戦目のものだろうと推測します。昭和初期の関西ラグビー・フットボール協会事情では、関西地区に於ける大会のお世話分布に付いては全関西中等学校大会は兵庫支部担当一全国高専・大学大会は京都府と大阪府の両支部担当と言う事に成って居て、プレー・グラウンドについても、兵庫は南甲子園を使用し、京・大阪は花園が出来る迄は、京大Gを使って来た経緯があったので、此のゲームに付いても、第一戦は兵庫の顔を有てて南甲子園で行ない、最終の2戦は花園でと言う事に成ったのではないかと考えられるが、真相に付いては当時の事情を知って居られる先輩方に伺って見る事にする。

挑戦／叩けよ／さらば開かれん／

八木 研 (現役チーム新・Fwリーダー)
 Aリーグ昇格。これが私達の第一目標であるが毎年のように挙げられるこの文句に苦笑される方も多いと思う。然し、更に付け加えることに真の目標はこれに止まらず、来年度のAリーグでの活躍、そして、いずれは大学選手権試合参加に迄更に増幅させるくらいのアmbitionを秘めていなければ、という事である。つまり、神大ラグビー部の現状を打破し、新しい伝統への第一歩を踏み出す事に在るのである。

私がFwsリーダーに就任するに当たり、私に出来る事は、皆を引っ張る事や、良いプレーで手本を見せる事では無く、主将・副将をサポートし広い視野で各部員それぞれが確実に向上・前進出来るように指示・指導してゆく事だと考える。

そのため、私自身、あまり肩に力を入れず、失敗を恐れる事無く努めて行きたいと思っている。

私達が掲げた目標は、達成迄遠く・果てしないものに間違い無い。然し肝心なのは、挑戦する事だ。挑む事無く・立ち止まってしまつては、成し遂げるなど到底出来ない。気持ちの何処かに諦め心が出勝な自身を奮いたたせて日々錬磨する姿にこそ、メンバーが共感して立ち向かってくるのだと信じて努力し、傍から見れば大袈裟過ぎる此のドリームを一笑する事無く本気で叶え得ると信ずるバカ者に私も・メンバーもなりたい。

信じて・努力する者の上記のみ、大きな力と栄冠は与えられる。 信は力なり！

H6・現役・新チーム・首脳陣の紹介

監督	葉室 力氏 (S・43卒)
コーチ	徳官 俊伸氏 (S・43卒)
	福原 純氏 (S・45卒)
	阪下 喜治氏 (S・48卒)
主将	菅波 健彦 (4回生・№8/L)
副将	鈴木 達郎 ("・SO/OTB)
Fwリーダー	八木 研 ("・HOOKER)
BKリーダー	長尾 康宏 ("・W.T.B)
主務	山邨 嘉教 ("・C.T.B)
副務	岡墻 正芳 (3回生・PrO/H)

現役・昨シーズンの戦跡

<リーグ戦 (Bクラス)・結果>

<神戸大>	<対戦校>	
○ 29	- 17	関大 ×
● 5	- 41	商大 ×
● 15	- 27	摂南大 ×
● 5	- 33	関学大 ×
○ 25	- 16	大教大 ×
○ 36	- 22	大産大 ×
○ 17	- 6	京大 ×

4勝3敗で、Bクラスの4位残留。

今年は、Oクラスに落ちて居た、天理・甲南がBに復帰するのが歓迎すべき報だが、一方で名門・古豪の京大がC転落するとの事、心が悼み、我々の後輩チームも一寸気を抜けば派手なアメフトやサッカーに押し込まれての明日は我が身だとの危機感を常に抱いて精進して貰いたい。

<三商大戦・結果>

● 神大	14-39	大市大 ○
● "	34-56	一つ橋 ○

残念ながら、最下位に終わった。

§現役新チーム・春~夏スケジュール概略紹介

春季練習：既に3月13日から始動しています。
 毎週、火~日迄、(月はoff)
 6月5日迄続けます。その内、土曜、日曜には出来るだけ多くの練習試合をする予定です。

春季練習試合予定：

予定日	相手	予定日	相手
4月16日	大体大	17日	関西大
23日	大産大	24日	近畿大
5月1日	関学大	3日	関大(工学部)
8日	京都大	15日	天理大
21日	大教大	22日	大商大
28日	甲南大		
6月4日	竜谷大	5日	摂南大

夏合宿予定：

1次~2次：菅平・ダボス高島屋、の予定
 全部員90人と多数の為、日数4日位、
 予定期日は、盆明け8月16日ごろ。

内容としては、

1次は、基本技強化、

2次は、 " +3試合、

3次：菅平・ニューダボス、の予定。

主力候補30人位に絞り、本格的対外試合2~3を含む強化訓練のプラン。

★ O.B各位への〔ハゲマス参加〕お願い

丁度、サマー・バケーション期でしょう。

アルプスに登ったり、現役と一走りして、一汗かいてから、露天風呂入って、信州そば食って、そば焼酎一杯やりながら新田次郎の、強力伝・風林火山・富士山頂なんかもっべん読むのんも当世風の省エネ・省Oにそうたええもんでっせ。

合宿への、ご指導・ハゲマス参加お願いします。

★ ご参加O.Bへの補助金の改正について。

日帰りの方に.....1万5千円

宿泊される方に.....2万5千円

といたします。

★ 今の時点では、日取り、宿、ともに流動的ですのでも少し経過してから、下記先でコンファームして下さい、お願いします。

<詳細事項お問合わせ先>

主務マネ・C.T.B・山邨 嘉教

枚方市春日元町1-41-21

☎ 0720-58-5114

平成6年春・部員の進路紹介

東 毅範	日本石油	末益 貴行	神大大学院
綾部 行宣	明治生命	林 武彦	"
木治 学	ニチレイ	田中 裕史	医・5回生
大西 宗弘	住友生命	武田 将行	2部5回生
奥益 和孝	伊藤 忠		
楠谷 勝	東京海上		
佐藤 真	日商岩井		
武田 光弘	コスモ石油		
田中 学	帝 人	吉田 一毅	負傷・入院
堤 亮介	住友商事		加療中
馬場 康昭	日商岩井		
平松 亮一	伊藤 忠	長池 昭夫	留 年
湯地 努	関西電力	松本 晃	"
岡田 典子	トーマン	竹峰晋太郎	"
向井 りつ	日本食研	上田 史	"
小畑 恵美子	未 定	福井真理子	"

§ O B 対現役 対抗戦&懇親会

時は、H 6.4.29 晴れ。13:00 k.off. だから、未だ時間的余裕有、阪急六甲駅から、景色を楽しみながらユックリと北上。かたおかに燕飛び交い米軍キャンプ・日本人遮断の踏切バーも取り払われて久しく、今は住宅公園用地と成り、すがすがしき新緑と、真紅の平戸ツツジを愛でつつ行く。この日の平穏さ、凡そ一昨日中華航空エヤバス機墜落・六甲有馬ロープウェイの宙吊事故騒動などは、まるで嘘のようで、世は全て事もなし。

最近に外装洗ったのかな? 正面石段を昇りつつ本館が記憶より精白・清浄な佇まいで緑に包まれ昔どおり堂々として誇りと安堵感を与えて呉れるのに感謝しつつ、右側の小径を登りグラウンドへ出た。時間前だから他部も練習している。

野球部もやってる! フット想い起こした、S 29 山本敏男、毛利、国米・・・を擁し関西六大学で堂々と覇権を競っていた。現役後輩諸君よ野球専門大学に敗けるな! 村山を超えてくれ。

テニス部もやってる! 此の部は伝統的に国内超一流ランクで、筆者同時期の S 30 年代にも善野多久・・・等、ウィンブルドン級の名プレーヤーが一所懸命 勉学伴に努力・活躍していましたね。当ラ部大 O.B で本日ご参加された、鈴木尚敏氏 (高商 25 回 S 6 卒) の懐古談に依ると、硬テ部は当時から抜群優秀で、戸澤 (元、阪神タイガース代表)、布井、桑原、・・・等が活躍していた。

取分け、布井氏はウィンブルドン・ファイナル迄戦う大活躍振りだった由。現役後輩諸君よ ポット出のテ専門大に敗けるな。願、超・澤松ノ尚、当部大先輩・鈴木氏の懐古談で、興味深いものが、もう一つある。昭和初期、我国・我母校を代表するウィンブルドン級の大選手・布井氏を有していた頃、早大に佐藤次郎氏なる方、この人も又ウィンブルドンへの日本代表級の名選手であったが、英国へ向かう船中、マラッカ海峡付近で、何故か突然行方不明となられ、当時飛び込み自殺か? との噂がながれた。いづれにしてもおしい人を亡くしたものだ。とのお話であった。

神戸大にも似た実話があったのです。S 30 頃、マナスル登山日本山岳隊にも参加された超一流アルピニストで神大山岳部の部長も兼ねて居られた本学の社会心理学教授・高木正孝氏が、マイクロネシア調査中に船中から消えられた。この時も同様の噂が飛び交っていたものでした。

南海の海は美しいが、魔性を秘めているのでしよう。

§ O B クラブ・チーム申請の事

凌霜ラガー・クラブが、春の対・現役戦以外、永らく実プレー活動を休眠して親睦団体化している、との指摘が理事会に於いて井澤氏・西松氏から予てから成されていた。この程、西松氏より今年度のチーム登録がなされた。

会 名: 兵庫県ラグビー・フットボール協会
(会長・丹羽 正氏)

チ ャ ム: 凌霜ラガー・クラブ

役 員: 西松部長 (S.31)、佐々木監督 (S.42)、
業室主将 (S.43)、森 内主務 (S.56)、
徳宮安全対策担当 (S.43)

プレーヤー: (S.54)土岐、(S.56)森内、(S.59)石崎、川崎、
村田、(S.61)中村、向井(昌)、(H.2)三木、(H.3)堀口、西口、野口、(H.4)諏訪、(H.5)三宅、(H.6)堤、田中、末益、佐藤、木治、楠谷、
林、等々の諸氏に先発しますが、プレー希望 O.B はドシドシ西松・森内宛お申越し下さい。

§ さて、親善マッチ開始

— 13:15 K.OFF —

前半開始早々に、O.B 側が、正面 30M 地点でベナルティを得て O.B ボール・スクラム。幸先よく、O.B 初得点か? と思ったがどうした事か、現役側に巧くボールを獲られ、回され、現役 14 がスルスルと抜け出し快走、フオロアーも 2 人いる。ディフェンスは F.B 唯一人の 1:3 状況、場面は逆転し、現役側楽々の初トライ態勢が現出した。が、好事魔多し、たった 1 人の F.B に進路頭を抑えられ・右に左にのダミー防御に心惑い・2 人のフオロアーにパスもせず、ゴール前 15M 付近でノックオンと成った。アア勿体ない! 予想外の好展開に成った時、フオロアーは、ボール・ホールダーに大きな声で状況伝達する練習もしてくれ。

幸いこの突進は無駄にならず、揉み合いから左へ展開後、13:25 左中間へのトライ・ゴール成ったが、何か一本損した感じは拭へなかった。

現役側はこれで波にのり、リズム・テンポ良く 13:30 10M.L 右隅付近でのナイス・ダウンボールを左中央へ振りポスト真下にトライ・ゴール。

13:35 現役陣 10M 左部から真中にトライ・ゴール。
13:45 O.B 陣 G.L 直前・右隅ライン・アウトからトライ。難しい角度からであったがコンバートも成功させた。これで前半戦終了。現役 4 T&G 28 点: O.B なんにもナシ、業を煮やした O.B / Capt が後半奮起要請の活を入れる一幕があった。

— 13:50 後半開始。 —

余力を駆る現役が、右サイドから果敢に突進・突破し大きくポスト中央迄廻り込み 13:55 / T&G アレアレ O.B 軍 Capt のカット入れは効かず、後半も現役軍のヤリタイ放題になるのかと心配した。が、乞うご安心、卒業後チト・ぼて気味の巨体にエンジンが掛かるのには或る程度の時間が必要だったので。勿論 O.B / Capt のカットも効いていました。14:00 現役陣 25M.L 右ライン・アウトから左へ回し右中間へ初トライしました。勿論 O.B 側が。14:05 現役陣 10M.L 超 / 左中間部からポストと真中にトライ・ゴール。

14:10 もう少し踏込んだ、上と同様地点から、似た展開で、同じくポスト直下にトライ・ゴール。現役諸君には、同様の攻めに対して連続しては破られ無いぞと言う瞬間的対応判断・対処力を養う練習をお願いしたい。

これは、現役・新 Capt が目指す“……バターの形成・努力”方針と一致している。

どのようにして抜いたか? なぜ抜かれたか? を常にイメージして練習して下さい。

抜いた・抜かれた、の場面をリアルに再現する為に「部内観戦式武官」を置いてマッチ毎の勝ち・負け・ナイスプレー・も一つプレー等、その試合の山・谷を分ける際の陣形をレポートさせ、それを基に首脳陣が訓練主ポイント樹立して行くと、短期に功が現われると思います。

14:15 現役陣 10M.L / 左 5M.L 付近から、右へ大きく展開し、G.L 右隅に O.B 側が又トライ。のみ。

14:20 O.B 陣中央 / 右ライン・アウトから、左へ回しポスト下へトライ・ゴール。

— これで、ノーサイド —

O.B 軍 5 T. 2 G で 29 点: 現役軍 5 T. 5 G の 35 点。晴天の下、両軍良き親善マッチを戦いました。宿題は数多く残りますが、エバー・オンワード!

〈レセプション〉

§ 120人ラガちゃん大集合

15:00~懇親レセプションが始まる。
 O.B & 家族40人、現役80人。六甲台・学食も、当部だけで満員貸切の盛況だ。三宅氏(Ⅱ5卒)の司会で楽しく開会。
 先ず、現役チーム首脳各人から、本年度に賭ける決意表明(内容は本紙に特枠で載せてあります)。多数参加されたO.B各人から、懐旧の辞・励ましの言葉が、当部発展祈念祝詞・乾杯後、続々と寄せられ会場の懇親熱はビールの泡と共に盛り上がった。数十名に上るご参加全O.Bからの全ご声援を記したいのですが、本紙スペース事情等から抜粋に成って終ります事お許し願ひ、筆者独断印象深度で今版はやらせて頂きます。
 久々に、母校グラウンド訪問された我が部の大O.B、中山氏(S7卒)は、本大学卒後、旧・満鉄入社、以降もラを愛し続け“満州鉄道時代=S11当時、柯氏、薄氏等早大O.Bを擁する新進気鋭の好チームだった”同氏もこの時期に、このチームで活躍し、その後も幾つになってもラを愛好し続けている。後輩諸君の健闘を願う。
 鈴木氏(S6卒)、久方振りに参加したが、多数の現役諸君が引き継いで呉れている事に感激している。一層精進され、北島御大みたいにその活躍振りをTVで応援・観戦させて頂ける事を願う。
 田中(初雄氏S12)乾杯の音頭と挨拶。
 島村氏(S25)、神大・三菱商事時代からずっとラを愛し続け、今は大津で中国系人に日本語・英語・ラグビーを教えている。現役諸君の発展を祈る。
 山本(泰督氏S29/本年3月迄・現役ラ部部長)この度、本学を退官し、大阪短大へ転身しますがお約束の良き後任発掘の責は果たしましたので発表します。新・現ラ部部長には、本学経済学部の高川好夫教授に引受けて戴く事に決めました。
 この方も、曾てのラグーマンですから現役諸君の良き指導・相談役として相応しい方ですよ。
 ☆山本・元部長サン、此迄のお世話とご配慮に重ねて厚く御礼申し上げ、大阪短大でのご活躍を祈り、時にふれ我々の六甲台へのお出でを願ひます。
 井澤氏(S30)現役時代・メインのラグビーに励むと共に、かねてから好きだったジャンプ・スキーにも努力していた所、在る年、冬期国体大阪府代表のジャンプ選手として出場要請を受け、ラ部には内緒で参加した。高いジャンプエからの飛躍には極限迄の緊張・細心の安全配慮が必要で、その上立ったゴーノのガッツが必要です。
 現役諸君も、一瞬の内にも、安全諸事万端具備で相手を負かす技の修練に励んでください。
 松本氏(S31)久しぶりに母校訪問し、島村氏他諸O.B & 多数の元気溢れる現役に会い満足した。現役陣更に頑張れ! 四条嶽高卒者更に頑張れ!
 西松氏(S31)永年肝煎って来た本会が、今年も晴天のもと、大O.B始め120余名の大集会・大盛会で行なわれて居るのは私の本懐です。
 凌霜ラグークラブもO.B戦だけでなく、他クラブチームとゲームをして欲しい。我々O.Bは物心両面で現役を支援するから現役は大いに頑張ってAリーグ入りを目指して欲しい。
 大音氏(S32)現役部員が80人も多数多数いて、女性マネ迄いるとは・・・隔世の感あり! 現役諸君益々の活躍を期待しています。

凌霜ラガー・クラブの新役員

本紙P2で4/6付・理事会討議諸事項のうち“会長・理事改選”について触れたが、20余日経過した4/29、O.B/現役の親善対抗戦・懇親会当日に、新陣容を下記のようにして更に当会の発展・運用に寄与して行き度い旨、表示された。

名誉会長	國領武一郎 (S. 12卒)
会長	太田 圭吾 (S. 27卒)
東京支部長	柏木昭二郎 (S. 26卒)
理事	田中 初雄 (S. 12卒)
今津 隆男 (S. 23卒)	子安 武 (S. 29卒)
井澤 俊之 (S. 30卒)	西松 理夫 (S. 31卒)
山下 弘 (S. 38卒)	東京支部肝煎兼任)
浜田 信 (S. 33卒)	O.B会報 担当)
山口 秀夫 (S. 36卒)	富士 栄一 (S. 38卒)
佐々木 慎太郎 (S. 42卒)	室賀 隆 (S. 43卒)
兼室 力 (S. 43卒)	現役の監督兼任)
徳宮 俊信 (S. 43卒)	コーチ、M.ドクター兼任)
原口 重孝 (S. 43卒)	東京支部肝煎兼任)
福原 純 (S. 45卒)	現役のコーチ兼任)
阪下 善治 (S. 48卒)	“ ”)
吉川 邦英 (S. 51卒)	
森内 敏晴 (S. 56卒)	O.B会 経理担当)
天知 吾郎 (S. 57卒)	川崎 光二 (S. 59卒)
向井 昌博 (S. 61卒)	藤井 貞男 (S. 62卒)
岡田 功 (S. 62卒)	
監 事	安中 一雄 (S. 32卒)

神戸大学ラグビー部・部長
 滝川 好夫氏(本学・経済学部教授)

山口氏(S36)曾ての指導通りやれば必勝出来る。
 松下氏(S39)私達の時期にはもっと頑張ってたぞ。
 國澤氏(S40) 向井勝氏(S42) フレーノ 現役。
 葉室氏(S43)神鋼との練習で理解、基礎が大切。
 阪下氏(S48)大卒後15年は現役プレーする心構え要。
 森内氏(S56)今日も心地良い一汗かいた。O.B軍の新チームでも活躍する積もり。同時にO.B会の経理担当理事ですから、現役への金銭的支援はマカセナサイ! 但し、裏付け実績必要。頑張れ!
 川崎氏、石崎氏(S59)今日のゲームの後半の現役陣の攻撃は、手を抜いたと感ずる。強い相手・殊に関東チームだったら100点差付けてやる気構えで押して来る。O.Bに合わさず、果敢に攻めよ。
 向井昌博氏(S61)コンタクト・プレー重視を!
 三木氏(Ⅱ2)新O.Bチームに参加す。現役も頑張れ。
 それから、平成時代のトレトレ・ヤングO.Bが次代への励ましエールを贈った。北本、堀口、山際、河野、野口等 Ⅱ3卒の諸氏。林、諏訪、坂本等 Ⅱ4卒の諸氏。三宅、不二、西川等 Ⅱ5卒の諸氏等々、その後も続々と、現役頑張れの祝詞・励ましが述べられた後、
 本年入部のニュー・カマーが、お立台上から次々と自己紹介、抱負表明、本日迄で13人いるが、もっと増える要素有る由。S31卒の松本氏が切望される四条嶽高出身者がナント13名中3人いてくれましたよ。
 しかし、松本氏よ、茨木高出も8人居ますよ。神戸高・近大付属高・天王寺高・膳所高・八尾高・渋谷高出身もいるぞ、そのクン達よ新庄の如くに商神陵なす翼を揚げて一層飛躍してくれと願う。
 トリに記すのは、帝塚山高出身の人がいます。つい先日カリフォルニアで完投勝利投手が出現した。それより3年前にも2回1/3投げた女性投手がいて、この人が日本留学を希望しており明治大学と、明大野球部が受け入れに努力している、との報道を見た。来シーズンの明治大は本命のラグビー+野球も焦点になるかも。興味シンシン。
 ガンバレ! “我が神戸大のラ部ウーマン!”

(関東、クラブ・ラグビー事情)

矢切りのワタシ

山下 弘 (S. 33卒)

“風頭の実さん”で有名になった“葛飾柴又の帝釈天”の裏から江戸川の河原に降りて、“矢切りの渡し”でギッチラコ、ギッチラコ(今は船外機でブルルル……ンですけど)と向う岸に渡って、途中“野菊の墓”の前を通り30分ほど歩いたとこにこの1月から住むことになりました。

関東に来たんで秩父宮や国立でラグビーが見られると楽しみにしてますねん。不取敢葛飾でクラブチームのゲームがあると言うのん聞いて見に行きましたんや。

自分が凌霜ラグクラブと言うクラブチームにおりながら関西のクラブチームの活動を全然知らなかったから比較がでけへんけど、この辺には、可成の数のチームがあって、アッチ・コッチで活躍しているみたいですよ。そのうちの何チームかが集まってリーグ戦をやっている見たいで、その日は、ここに6チームが集まって試合やりました。

高校出たばかりと思う若い者から、ワシよりも年上かと思うようなオジン選手や、白人選手も何人か居って、それから可成り技術レベルの高い選手からラグビー始めて間もないような者も居って年令層も人種も豊富で、技術レベルも一部を除いてなかなかのもんで、見とっておもろおました。

まあ話せば長いことですけど、こんなゲームを見に行くことになったんもチョットした切掛がありましたんや。

ウチのドラ息子が3年半前に東京で就職して、正規はその会社でラグビーしてるんですけど、シーズンオフになったら某クラブチームでプレーを楽しんでるいうことは以前から聞いてました。たまたまワシの今度の住まいが、そのクラブチームのプレーグラウンド最寄りやったんで、ゲームがある時は(その日だけ)前の日に帰って来て、あくる日ゆっくりと出て行きよりまんねん。

オヤジにしてみたら、ここんとこ永いこと俣のラグビーを見てまへんので、この時とばかりに缶ビール・缶ウイスキー水割りとツマミを買い込んでの試合見物。静かに黙って見てるつもりがアルコールのせい、ついつい興奮して“アホカー”“何しとんやー”“タックルやー”。

そんなこんなで試合見物が度重なるにつれ、俣のクラブの選手達や応援団連中(女性ばかり)と挨拶を交わすようになりましてん。結局5~6回見に行ったんちゃいまっか。

6月に入ってリーグ戦が終わって残念ながら優勝は出来なかったけど好成績を残したそうです。それで6月下旬にクラブのシーズンの打上げ会をやるけど「太郎さんのお父さんも何回も応援に来ていただいたので是非ご参加下さい」とお招きを受けましてん。

そやけど、俣が中学生や高校生ならいざ知らず(いや、今は大学生でもやけど)25にも26にもなった俣のラグビークラブの納会にオヤジが嬉しそうな顔を出すんも変な話しやけど、そこは嫌いやないオヤジのことで、ついつい顔を出すことになりましたんや。

「太郎さんのお父さんです」と紹介されて、ビールを注がれて、昔話をひとつくさり俣の中学・高校時代の話をおまけ

に自分の監督の時の話なんかして、上機嫌のひとときを過ごしましたんや。

ところで、このクラブ名は何回聞いても覚えられまへん。新宿の一杯飲み屋(こんな表現したら怒られるかも知れへん)の主人がオーナーのクラブで、ラグビー好き者の集まり見たいですよ。もちろん打上げ会場は、その新宿の一杯飲み屋でした。聞くところによると、このオーナーは、作家の椎名 誠氏の弟さんだとか。

9月に入って、もう俣の会社のチームのリーグ戦は始まったと思いまっけど、ウルサイオヤジは来ていらんのか、何んにも言うて来てくれまへんちょっとだけガッカリしてま。

長々と、とりとめのない事を書きましたけど、表題とも離れてしもてこれやったら“いつまでも子離れ出来ない哀れなオヤジの物語”とでもした方が良かったかも知れまへんナ。すんまへん。

最後に“東京に出て来てる若手O.Bの方で会社にチームが無くラグビーしたいが機会無い、ケドどうしてもヤリタイひとに耳寄りのアドバイス”新宿3丁目にある、池林房(チリンボウ) ☎ 3350-6945 で“儂が入ったらこんどは優勝やな”て言うて見てみいー。よせて呉れまっせ。

“ダイスケ君のこと”

新村 夕美 (S. 63卒・市立尼崎高校勤務)

S. 63 4.1.付けで市立尼高へ初出勤した。校務・教科指導、共に日々新しく未知体験の事項ばかり、然しそういった中で、慌てず・騒がず・堂々とやれたものが有ったのです。それが、勧められて、早速引受けた「市立尼高ラグビー部顧問」の要職? だったのです。

スコアを探ったり、練習をサイドから見守ってやったり、教務とこの課外活動への参加とで、目の廻りそうな日々でした。が神大ラグビー時代の経験と鍛練のお陰か、元気にこなせていました。それにしても「卒業したら、ラグビーとは縁がなくなる。」と思っていたのに……その後H2には、ラグビー顧問を辞退したのですが、「何時の日にか、教え子の中から神大ラガーの後輩になる子を育てて見たい。」などと想う今日この頃なのです。……面白いものですね。

= ダイスケ君のこと =

ダイスケ君はでかい。目もギョロロとしていて。そのかわり口調はおっとりしていて、なに可可愛い。高校に入学して彼はラグビー部に入った。私は或る日廊下でダイスケ君に「あなたならブロッツかな?」と聞いた。ダイスケ君はどنگり目をさらに大きくして、「せんせえラグビー知ってんの?」と問い返して来た。「そうよ、私、前に顧問してたんだから。」「うそお。」

数日後、廊下で私は少年達に囲まれた。

“何だろう”と思ったらダイスケ君が「この先生を、ラグビー部の顧問やってんでえ。」「うそお。先生ほんま?」「先生ほんならラグビー教えてや。」「え? 君達ラグビー部?」「うん。」

教えて、と言われてもちょっと困るんだけど……と、思っているとチャイムが鳴った。以後、ラグビー部員達は私に対して“顧問待遇の表敬挨拶”をしてくれる。

ところで、ダイスケ君は、勉強が苦手である。学年末に英語・数学・国語の担当先生達が大汗かいて個別補習をした。その結果追試は二つ文? で済んで進級することが出来た。ダイスケ君は追試の後、私のところに来て「せんせえ、二年生なれた。」「よかったねえ。がんばろうね。」「うん、ありがとう。」……笑っては言ったけど、私が二年生時の彼の英国を担当する事が解っていたから、その笑顔はほんの少し引きつっていたかも。でも、ダイスケ君はやっぱかわいい。

平成5年度 決算報告

H 6. 3. 1

収入の部 森内敏晴 (S56卒)

項 目	予 算	実 績
前年度繰越	2,106,272	2,106,272
会費	2,000,000	2,478,000
その他	120,000	265,120
収入計	4,226,272	4,849,392

支出の部

項 目	予 算	実 績
クラブ運営費	300,000	368,270
会報作成	200,000	159,906
通信費	100,000	49,965
協会費	20,000	10,500
現役補助	800,000	800,000
三商大補助	50,000	50,000
OB合宿補助	300,000	160,000
総会運営費	150,000	178,368
監督費	300,000	286,698
会議費	100,000	92,041
雑費	50,000	63,162
次期繰越し	1,856,272	2,630,482
支出計	4,226,272	4,849,392

平成6年度 予算報告

H 6. 3. 1

収入の部 森内敏晴 (S56卒)

項 目	予 算	備 考
前年度繰越し	2,630,482	
H6会費収予定	2,400,000	240口
その他・雑収入	120,000	寄付利息 他
H6収入予定計	5,150,482	

支出の部

項 目	予 算	備 考
クラブ運営費	300,000	OB戦・弔慰
会報費(郵代含)	266,000	年2回分
通信費	100,000	
協会費	20,000	
現役補助	1,000,000	球・器具・衣
三商大戦補助	50,000	
OB合宿参加補	300,000	泊2.5/帰1.5
総会の運営費	150,000	会食・案内費
監督費	300,000	現役打合費含
会議費	100,000	理事会費補助
会員名簿刷新費	500,000	新刷要580部
雑費	50,000	振込手数料他
次期への繰越し	2,014,482	
H6予測支出計	5,150,482	

計 報

岡田 捨雄様 (S25卒) H5. 7月 没
 吉川伊久三様 (S23卒) H5. 5.10 没
 浜崎 清 様 (S 4卒) H5.10.18 没
 田中 太郎様 (T15卒) H6. 1月 没
 甲斐 素雄様 (S12卒) H6. 2. 6 没
 上記5名の方々がお亡くなりになりました。
 ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

平成5年度 年会費納入者一覧 (敬称略)

ご 寄 付

S4卒 浜崎 清先輩に於かれては、惜しくも
 昨年・秋に亡くられた由。ご家人から通知と当
 会と現役部の発展を願っている旨の励まし、と共
 に、寄付頂いた。祈御冥福・申上御礼・誓向上

- S11. 杉山
- 12. 菊谷、田中、甲斐 (乍残念没本年2月)
- 16. 五島、伊吹 S18. 妹尾
- 19. 田中 (光季)
- 20. 金田、羽田 (乞御許、貴卒年次誤記)
 (同時 願将来的御支援)
- 21. 梶原 S22. 三宅

☆喜諸先輩健勝的活躍、望後輩支援継続

会費納入諸氏

- S23. 伊東、今津、船曳、吉川伊久三
 (乍残念没昨5月)
- 24. 木田
- 25. 島村、植崎、松田
- 26. 柏木、柴田、木村、山崎
- 27. 永田、池田、藤井、平木、柚木
- 28. 河野、河合、依藤、森本、村本
- 29. 山本、子安、西松、木下
- 30. 赤崎、井沢、名取 (幸男)、横田
- 31. 松本、小林、磐井、伊藤、永井、浅野
- 32. 野間、安中、小川、大音
- 33. 野川、山下、竹村、浜田
- 34. 村尾、塩谷 S35. 河島
- 36. 山口、永田、松下
- 37. 久我、千歳、鍵野
- 38. 富士、松村
- 39. 松下、小玉、野村、中重
- 40. 國澤 S41. 松村、谷口、深山
- 42. 武田 (有末)、向井、岩崎、永峰
- 43. 室賀、原口、寺西、矢野、徳宮、葉室
 山岸、奥澤
- 44. 田中 (淳)、野中、用水原、脇、浅野
- 45. 福原、和田、清水
- 46. 小川、鷹尾 S47. 尾上、並河
- 48. 藤本、阪下、渡辺 S49. 森
- 50. 吉澤、森田、淵田
- 51. 西川、冢合、吉川
- 52. 河野、山形、糸井
- 53. 明慶、中野、磯江、田中 (計)、山之端
- 54. 西本、土岐 S55. 板垣
- 56. 松井、森内、藤野、浜名、白川
- 57. 中本
- 58. 中瀬古、久門&奈利子、椿、仁張
- 59. 村田、石崎、上森、雲財、川崎、福田
 仲野&聡子
- 60. 遠藤、玉置、西野、渡辺
- 61. 向井 (昌)、山口&路子
- 62. 向井 (信)、友井、児玉、中村
- 63. 大野、尾崎、竹島、福本

S.64/H1

- H 2. 吉田、三木、西松 (利)、石脇、若林
- 3. 北本、月僧、真田、野口、堀口
- 4. 清水、田中 (英)、諏訪
- 5. 児玉、三宅、伊藤、不二

☆メンバーの皆様のご健康と、ご発展を祈って
 広報子・敬白)